

MRJ 部品製造に喜び

中津川市の市に限定模型贈る
加藤製作所



青山節児市長にMRJの模型を手渡す
加藤景司社長(左)＝中津川市役所

昨年11月、初飛行に成功した国産初のジェット旅客機MRJ(三菱リージョナルジェット)の部品を製造している、中津川市駒場の金属製品製造業加藤製作所が29日、同市にMRJの機体の模型を贈った。

同社はMRJの主翼の部品約100種類を製造している。26日には、航空宇宙産業の世

界標準の品質マネジメント規格「JIS Q 9100」を取得した。

模型は機体の100分の1サイズで、取引先用の限定モデル。加藤景司社長(54)は「これからMRJの部品が量産に掛かっていく。少しでも携われてうれしい」と語り、青山節児市長に模型を手渡した。(有我友香理)